

東京エレクトロンの技術は、身近なところで私たちの生活を支えています。

東京エレクトロングループ(TEL)は、1963年の設立以来、半導体製造装置のリーディングサプライヤーとして幅広い製品分野の開発・製造・販売を行っています。また、半導体製造装置の分野で蓄積した専門技術を生かし、FPD(フラットパネルディスプレイ)製造装置の開発・製造・販売も行っています。



お客さまである半導体・FPDメーカー各社がつくったCPU、メモリ、液晶画面などの製品は、世界中のあらゆるエレクトロニクス製品に組みこまれ、その飛躍的な高性能化および省エネルギー化により人々がテクノロジーの利便を享受することに貢献しています。

会社概要

社名：東京エレクトロン株式会社
TOKYO ELECTRON LIMITED
本社所在地：〒107-6325
東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー
Tel：03-5561-7000 (代表)
設立：1963年11月11日
資本金：549億6,119万円(2010年4月1日現在)
主要取扱製品：半導体製造装置、FPD製造装置、
太陽電池製造装置
社員数：1,099名【単体(2010年4月1日現在)】
10,204名【連結(2010年4月1日現在)】

編集方針

本報告書では、東京エレクトロングループの社会的責任への考えと、地球環境や社会に対する取り組みを報告しています。2009年度はお客さま、株主・投資家の皆さまとのかかわりについての報告を新たに追加し、内容の充実を図りました。

本報告書を通して、当社グループとかわるすべての方々とのコミュニケーションをさらに充実させ、今後の活動に生かしていきたいと考えています。皆さまからの忌憚のないご意見、ご感想を、差し込みのアンケート用紙にて是非お寄せいただければ幸いです。

なお、2009年度の環境会計の結果は当社Webサイトに掲載されます。

<http://www.tel.co.jp/environment/ehsreport.htm>

対象範囲

東京エレクトロングループ
(東京エレクトロンおよび国内・海外の子会社・関連会社)

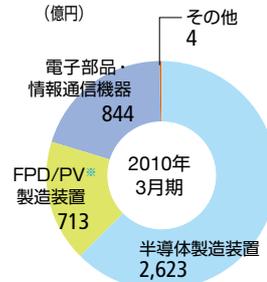
対象期間

2009年4月1日～2010年3月31日を基本としていますが、一部2010年度の取り組みも含まれます。

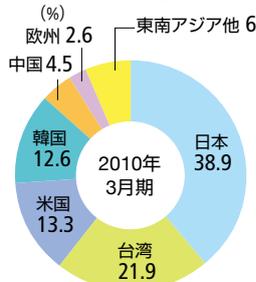
■ 売上高および営業利益の推移(連結)



■ 部門別売上高(連結)

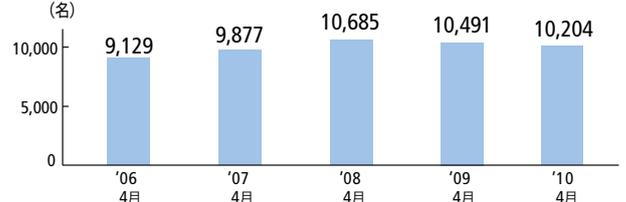


■ 地域別売上構成比(連結)



※ PV(Photovoltaic)：太陽電池

■ グループ社員推移



対象分野

環境、社会、経済的側面

参考にしたガイドライン

環境省：環境報告ガイドライン(2007年版)

GRI(Global Reporting Initiative)：

サステナビリティ・レポートガイドライン2006

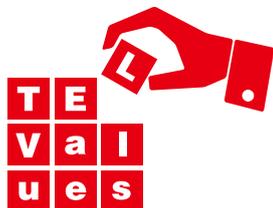


基本理念

「人々の健全で質の高い生活を実現する為に先端分野に於けるトップサプライヤーとして価値の高い技術・サービスを世界に提供する」
 「夢のある社会の構築、環境問題の対応に一層のリーダーシップを発揮する」
 「使命感を社員全員と共有し、いきいきと輝き夢と活力のある会社を実現する」

TELバリュー

2006年4月に、当社グループの価値観および行動規範となるものを「TELバリュー」として策定しました。
 「TELバリュー」を世界中のグループ社員と共有し、未来に向けての新たな成長の原動力にしていきます。



TELバリュー

私たちが大切にしたいこと

誇り

私たちは、自らが誇りを持てる高い価値を持った製品・サービスを提供します。

TELバリュー

私たちが大切にしたいこと

チャレンジ

私たちは、世界No.1をめざし、新しいこと、人のやらないことにチャレンジします。

TELバリュー

私たちが大切にしたいこと

オーナーシップ

私たちは、オーナーシップを持って、考え抜き、やり抜き、やり遂げます。

TELバリュー

私たちが大切にしたいこと

チームワーク

私たちは、お互いを認め合い、チームワークを大切にします。

TELバリュー

私たちが大切にしたいこと

自覚

私たちは、社会の一員としての自覚を持ち、責任のある行動をします。

Contents

会社概要／編集方針	—————	p.2
基本理念／TELバリュー	—————	p.3
トップコミットメント	—————	p.4



Highlight

社内座談会	—————	
～フィールドソリューション事業の可能性～	—————	p.6
低炭素社会の実現に向けて	—————	p.10



Management Report

コーポレート・ガバナンス	—————	p.12
コンプライアンス	—————	p.13



EHS Report

EHSマネジメント	—————	p.14
製品における環境への取り組み	—————	p.16
事業所における環境への取り組み	—————	p.20
健康・安全への取り組み	—————	p.24



Social Report

お客さま・取引先とのかかわり	—————	p.26
株主・投資家の皆さまとのかかわり	—————	p.27
社員とのかかわり	—————	p.28
社会とのコミュニケーション(企業市民活動)	—————	p.30
第三者所見	—————	p.32
東京エレクトロンのあゆみ	—————	p.33